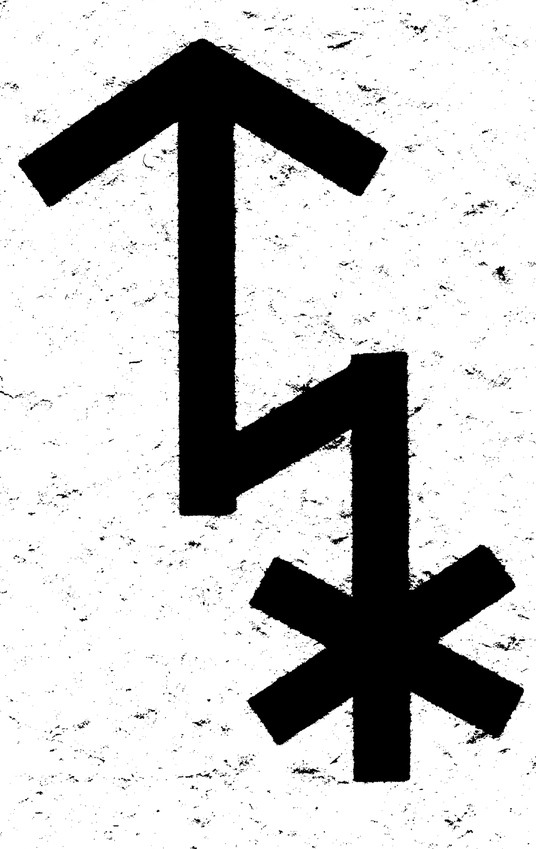
ト　ヿ　R

宇宙意識講座

-ONENESS WITH THE DIVINE-



A COURSE
IN COSMIC CONSCIOUSNESS

ONENESS WITH THE DIVINE

第五課

この課では、合一のための第四のエレメント、すなわち、地のエレメントについて学習します。

地のエレメントは、ペンタグラムと関連しており、神の像として顕現した人間のエレメントです。また、地のエレメントは、ヘブライ文字のヘーによってあらわされ、このヘーは、しばしば「第二のヘー」として言及されています。

地のエレメントは、顕現の前に、火、水、風の３つのエレメントを統合します。そして、冷かつ乾の性質をもち、物質界、意識をあらわしています。より一般的な意味では、意識的なものは、物質的なものであるといえるかもしれません。いくつかの点において、３つの非物質的なエレメントの助けをかりて、物質的な構成を発達させることを学習するはずです。物質界は、形の世界としても言及されています。

三角形、四角形、五角形は、相互に作用しあい、その結果、何かがペンタグラムで示される物質界、意識の領域に顕現するのです。

地のエレメントの世界

地のエレメントの世界を探究する前に、地のエレメントについてのキーワードをいくつか復習しておきましょう。

地のエレメント：意識、形態の世界、物質界、ペンタグラム、ヘブライ文字のヘー、冷かつ乾、地の精霊ノーム、顕現のエッセンスである神性意識。

あなたの周囲の作業場

四大エレメントを統合する場合、あなたの周囲にそれぞれのエレメントをあらわす道具を準備しておくことは、有益です。
ここでは、地のエレメントについてプラクティスを行うことにしましょう。
あなたの周囲にサークルを描くことも、もちろん効果的です。

この防御円の外側にテーブルを置き、テーブルの上にペンタグラムを描きそれを円で囲みます。そして、ペンタグラムの中心に、土を入れた皿、あるいは、水晶を置きます。そして、ヘブライ文字のヘーを書きます。

あなたが地のエレメントの世界への小旅行をはじめようと意識するとすぐに地の世界からエネルギーがひきよせられるのに気づいてください。この小旅行は、あなたが望む間、続けることができます。

世界から地のエネルギーを取り入れ、それをペンタグラムのなかに放射しているところを視覚化します。あなたが第二課で、火のエレメントに対して実践したようにペンタグラムのなかに十分にエネルギーが蓄えられたと感じるまでこれを行います。

あなたの内なる作業場

次に、地のエレメントの内部領域を確立します。

イマジネーションの力を働かせて、あなたがこの目的のために最も適していると思われる場所にいる自分をイメージしてください。そして、あなたが地のエレメントを探究する間、つねに自分の周囲に存在し、あなたを守ってくれる防御泡をイメージします。そして、周囲の様相がだんだん変化し、しだいに地のエレメントの特徴を帯びてくるのに気づいてください。あなたは、この世界を歩き回ります。あらわれてくるすべてのものに対し、知覚と意識を開きます。

そして、この世界から戻った後、体験したことを思い出し記録しておきます。

この体験の目的は、地のエレメントに慣れ親しみ、あなたが地のエレメントを呼ぶときには、いつでも、それが存在するようにするためです。

あなたは、望むときにはいつでも、あるいは、必要を感じたときにはいつでも、この世界を去ることができます。

この内部領域に身をおきながら、その世界があなたのテーブルの上に形成された外部領域とエレメントの宇宙領域につながりをもっていることを意識してください。

意識とひとつになること

まず、あなたの周囲を囲んでいる防御円、または、防御泡の中心にいる自分を視覚化します。そして、あなた自身の正面にペンタグラムと、その中にヘブライ文字のヘーをイメージします。もちろん、ヘブライ文字を省き、ペンタグラムのみイメージしても構いません。その他、地の精霊、ノーム、物質としての土、水晶等、地のエレメントに関連したものを視覚化してもよいでしょう。

そして、心のなかで、あるいは、声にだして次の言葉を６回繰り返します。

「私のすべてが意識である。」

繰り返すたびに、地の内部領域に意識を集中します。

次の言葉を１回唱えます。

「私は、ひとつである。」

このプロセスを最低１０回、連続して繰り返します。

最低１０回のプラクティスの後、体験したことを日記に記入しておきます。

3つのエレメントのプラクティス

１．あなたの正面に火、火の精霊、三角形を視覚化します。そして、次の言葉を６回繰り返します。

「私のすべてが意志である。」

２．次の言葉を１回唱えます。

「私は、ひとつである。」

３．あなたの左側に水、水の精霊、五角形を視覚化します。そして、次の言葉を６回繰り返します。

「私のすべてが情動である。」

４．次の言葉を１回唱えます。

「私は、ひとつである。」

５．あなたの背後に風、風の精霊、四角形を視覚化します。そして、次の言葉を６回繰り返します。

「私のすべてがマインドである。」

6．次の言葉を1回唱えます。

「私は、ひとつである。」

7．あなたの右側に、地、地の精霊、ペンタグラムを視覚化します。そして、次の言葉を6回繰り返します。

「私のすべてが意識である。」

8．次の言葉を1回唱えます。

「私は、ひとつである。」

9．そして、次の言葉を6回繰り返します。

「意志と情、マインド、意識は、統合され、ひとつである。」

10．次の言葉を1回唱えます。

「私は、ひとつである。」

そして、次のテキストに進む前に、これまでの全プロセスを少なくとも3回は、繰り返します。個々のエレメントの内部領域に対する気

づきを深めてください。後には、これらの視覚化された世界は、ますます、抽象的な形態をとるようになるはずです。しかし、現段階においては、視覚化を行うことは有効に作用するはずです。

規定回数以上のプラクティスを行い、プログレス・レポートを提出してください。

A COURSE IN COSMIC CONSCIOUSNESS

ONENESS WITH THE DIVINE

第四課

この課では、合一のための第三のエレメント、すなわち、風のエレメントについて学習します。

先のレッスンで述べたように、風のエレメントは、エネルギーの状態として四角形と関連しています。そして、ヘブライ文字バウによりあらわされ、熱であり乾である火のエレメントと冷であり湿である水のエレメントとをつなぐ存在なのです。風のエレメントは、熱にして湿の存在であり、火と水という「基本エレメント」の相互作用をうみだします。したがって、メンタル界、創造界は、スピリチュアル界、流出界とアストラル界、形成界との間に位置しています。

人間が神の姿に似せてつくられたように、何かが顕現する前には、スピリチュアル領域における創造、もしくは、流出があります。神の意志、または、神のスパークがすべての創造の根源にあるのです。周知のように、意志は、火のエレメントと関連しています。意志は、メンタル界のリンクによりアストラル界と相互作用を引き起こします。つまり、言い換えれば、何かが顕現する前には、最初、それが考えら

れ（意志）、メンタル・パターンにより、アストラル界、または、形成界においてアストラル・マトリックスをおびるのです。

三角形、四角形、五角形は、相互に作用しあい、その結果、何かが物質界、意識の領域に顕現するのです。

あなたが、神霊との合一を達成するために、すべてのエレメントとすべての世界に徹底的に慣れ親しんでおくことは非常に重要です。ここでいう、神霊とは、あなたの形（姿）の原型にあたる存在です。

メンタル界

さてそれでは、火、風、水の三つのエレメントをひとつにする作業に入りましょう。

その前にこれら三つのエレメントのキーワードについて簡単に復習しておきましょう。

火のエレメント：意志、流出界、スピリチュアル界、正三角形。ヘブライ文字のヨッド、熱であり乾、サラマンダー、顕現の根にある神のスパーク

水のエレメント：情動、形成界、アストラル界、五角形。ヘブライ文字のヘー、神の名の最初のヘー、冷であり湿、ウンディーネ、神のスパークと相互作用をおこす形成的なポテンシャル

風のエレメント：マインド、創造界、メンタル界、四角形。ヘブライ文字のバウ、何にもまして独立を愛する風の精霊シルフ、熱にして湿。形成的なポテンシャルと神のスパーク（顕現する意志）をつなぐ創造的なポテンシャル。

火と水と風のエレメントの相互作用が、意識の世界への顕現のもとであるのです。

あなたの周囲の作業場

四大エレメントを統合する場合、あなたの周囲にそれぞれのエレメントをあらわす道具を準備しておくことは、有益です。

ここでは、風のエレメントについてプラクティスを行うことにしましょう。

あなたの周囲にサークルを描くことも、もちろん効果的です。

この防御円の外側にテーブルを置き、テーブルの上に四角形を描きそれを円で囲みます。そして、四角形のなかに香炉と、もし用意できるのであれば短剣を置きます。そして、ヘブライ文字のバウを書きます。

あなたが香に火をつけるとすぐに、風の世界からエネルギーが引き寄せられるのに気づいてください。

世界から風のエネルギーを取り入れ、それを四角形のなかに放射し

ているところを視覚化します。あなたが第二課で、火のエレメントに対して実践したように四角形のなかに十分にエネルギーが蓄えられたと感じるまでこれを行います。

あなたの内なる作業場

次に、風のエレメントの内部領域を確立します。

イマジネーションの力を働かせて、あなたがこの目的のために最も適していると思われる場所にいる自分をイメージしてください。そして、あなたが風のエレメントを探究する間、つねに自分の周囲に存在し、あなたを守ってくれる防御泡をイメージします。そして、周囲の様相がだんだん変化し、しだいに風のエレメントの特徴を帯びてくるのに気づいてください。あなたは、この世界を歩き回ります。あらわれてくるすべてのものに対し、知覚と意識を開きます。

そして、この世界から戻った後、体験したことを思い出し記録しておきます。

この体験の目的は、風のエレメントに慣れ親しみ、あなたが風のエレメントを呼ぶときには、いつでも、それが存在するようにするためです。

あなたは、望むときにはいつでも、あるいは、必要を感じたときにはいつでも、この世界を去ることができます。

この内部領域に身をおきながら、その世界があなたのテーブルの上に形成された外部領域とエレメントの宇宙領域につながりをもっていることを意識してください。

マインドとひとつになること

まず、あなたの周囲を囲んでいる防御円、または、防御泡の中心にいる自分を視覚化します。そして、あなた自身の正面に四角形と、その中にヘブライ文字のバウをイメージします。もちろん、ヘブライ文字を省き、四角形のみイメージしても構いません。その他、風の精霊、シルフや短剣等、風のエレメントを関連したものを視覚化してもよいでしょう。

そして、心のなかで、あるいは、声にだして次の言葉を６回繰り返します。

「私のすべてがマインドである。」

繰り返すたびに、風の内部領域に意識を集中します。

次の言葉を１回唱えます。

「私は、ひとつである。」

このプロセスを最低１０回、連続して繰り返します。

最低１０回のプラクティスの後、体験したことを日記に記入しておきます。

3つのエレメントのプラクティス

１．あなたの正面に火、火の精霊、三角形を視覚化します。そして、次の言葉を６回繰り返します。

「私のすべてが意志である。」

２．次の言葉を１回唱えます。

「私は、ひとつである。」

３．あなたの左側に水、水の精霊、五角形を視覚化します。そして、次の言葉を６回繰り返します。

「私のすべてが情動である。」

４．次の言葉を１回唱えます。

「私は、ひとつである。」

５．あなたの背後に風、風の精霊、四角形を視覚化します。そして、

次の言葉を６回繰り返します。

「私のすべてがマインドである。」

６．次の言葉を１回唱えます。

「私は、ひとつである。」

７．そして、次の言葉を６回繰り返します。

「意志と情、マインドは、統合され、ひとつである。」

８．次の言葉を１回唱えます。

「私は、ひとつである。」

そして、次のテキストに進む前に、これまでの全プロセスを少なくとも３回は、繰り返します。個々のエレメントの内部領域に対する気づきを深めてください。後には、これらの視覚化された世界は、ますます、抽象的な形態をとるようになるはずです。しかし、現段階においては、視覚化を行うことは有効に作用するはずです。

規定回数以上のプラクティスを行い、プログレス・レポートを提出してください。

A COURSE
IN COSMIC CONSCIOUSNESS

ONENESS WITH THE DIVINE

第六課

宇宙意識講座の最後のテキストになりました。このテキストでは、すべてのファクターを統合し、さらにいくつかのアドバイスやヒントを提供することにしましょう。

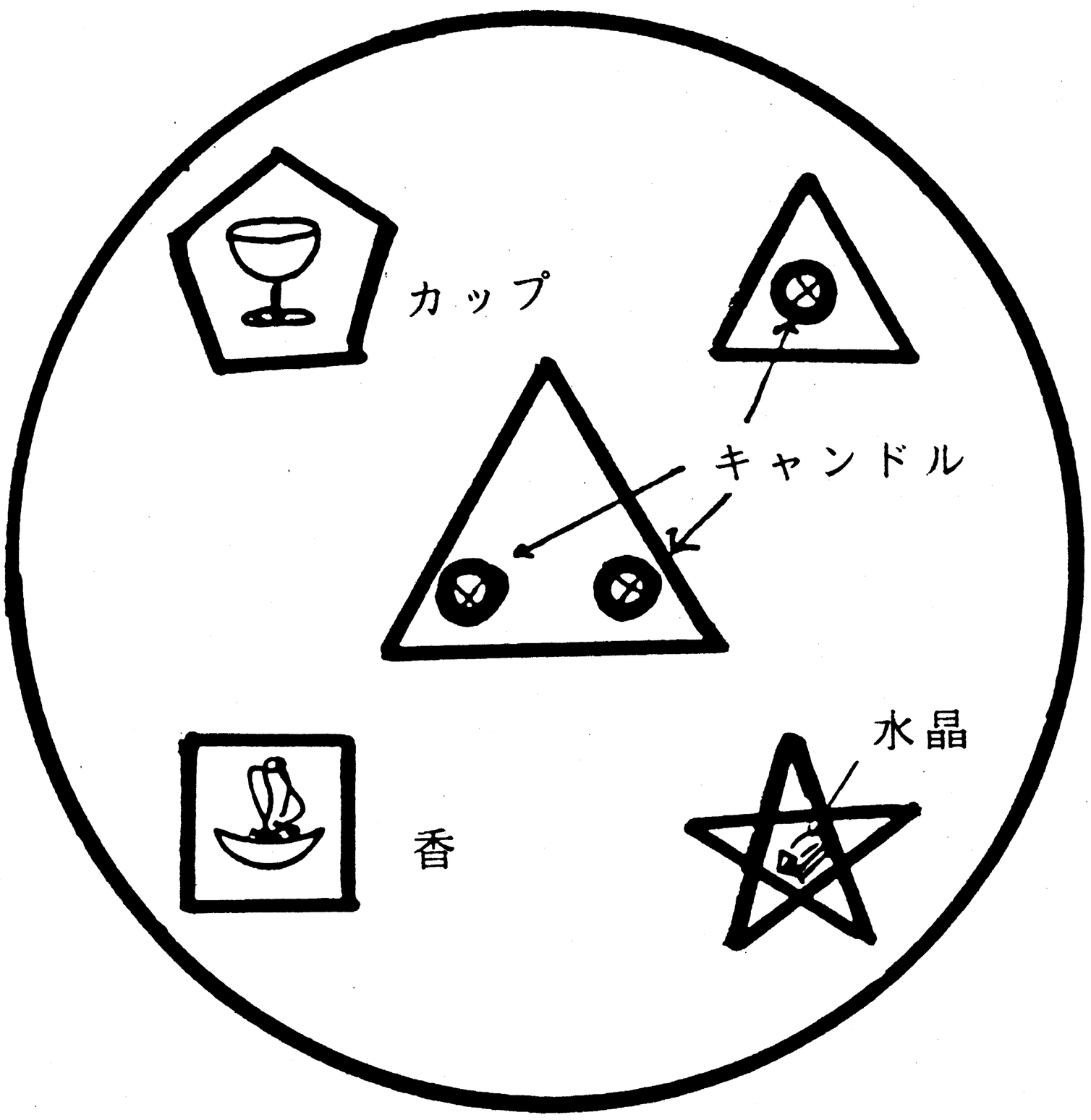
A. 合一の実践

1. 外部領域

外部領域のセッティングは、必須のものではありませんが、とりわけ初歩のうちは、かなり助けになるものです。儀式的なセッティングを行うことで「ひとつであること」の意識をより堅固なものにすることができるのです。

もちろん、後々は、外部領域の必要性を感じなくなるはずです。

外部領域は、あなたが行おうとしていること、すなわち、四大エレ


カップ
キャンドル
水晶
香

メント、四界を統合し、あなた自身の内で合一を達成することを反映したセッティングにしなければなりません。その結果、意図的に個々の世界に入り、その世界から作業を行うことも可能になるのです。

前回までのテキストで学習したように、あなたの周囲に防御のための「泡」をイメージします。あなたが、このようなイメージを作業のたびに行うことで、この「防御泡」は、ますますあなたにとって親密な存在となり、強力な存在となっていきます。

あなたの正面にテーブルを用意します。テーブルは、あなたが目的とする特定の世界と結びついた個人用「配電盤」であり、コントロールボードです。今回、私達は、この配電盤を四大エレメントを統合し、自己のなかで神霊を体験するために使用します。したがって、あなたのテーブル、つまり、祭壇は、四大エレメントをあらわすように準備しなければなりません。

テーブルの上にも、サークル（円）を描きます。サークルのなかには、正三角形を描きます。この三角形は、「顕現の三角形」です。三角形のなかにふたつのキャンドルを置きます。このふたつのキャンドルは、三角形のなかに放射したエネルギーを視覚化し、コントロールするために非常に役に立ちます。このふたつのキャンドルのことを「祭壇用キャンドル」と呼びます。

この三角形の周囲に、四大エレメントをあらわすものを描き、また、配置します。

右上部には、三角形を描き、その中にキャンドルを１本配置します。

左上部には、五角形を描き、その真ん中に、水（または、ワイン）を入れたカップを置きます。

左下には、四角形を描き、その中央に、香炉を配置します。

右下には、ペンタグラムを描き、その中央に、水晶、または、土を入れた皿を配置します。

これが、基本的な配置です。この配置は、合一のプラクティスだけではなく、他のあらゆる高次のエネルギーを扱う作業のためにも応用することができます。この配置は、あなたが合一することにより受け取るエネルギーに対する支配をも象徴しています。

次に外部領域、あなたの周囲の作業空間をチャージしましょう。

最初に祭壇用キャンドルを点灯します。これは、あなたの作業の開始を意味しています。「私は、キャンドルに点灯する。これは、私がなそうとする作業をあらわす。」等のようなことを唱えるのが効果的でしょう。重要なことは、このキャンドルへの点灯が、作業のはじまりを意味しているという強い自覚をもつことです。同様にキャンドルを消す場合には、それが作業の終了を意味し、そこにまだ存在していたすべてのエネルギーがアースされるということを意識します。

そして、パワーロッド、または、人差し指を伸ばして、三角形の輪

郭をなぞります。これを輪郭線のなかにエネルギーが注ぎ込まれ、線が障壁の役割をはたすように強くイメージしながら行います。

次に、火の三角形のなかのキャンドル、風の四角形のなかの香に点灯します。

防御されているということを意識しながら、あなたの周囲に円を描きます。

それから、火のエネルギーを三角形のなかに放射します。そのエネルギーは、赤色でイメージし、吸気とともに、世界からあなた自身へと引き寄せ、呼気とともに三角形のなかに放射します。このエネルギー放射にパワーロッドを用いることは、もちろん効果的です。もし、パワーロッドをもっていなければ、人差し指を三角形の方に向け、体内から指先をとおして赤い火のエネルギーが放射されるのをイメージします。または、エネルギーが放射されているのを視覚化するだけでも構いません。あなた自身に最も適切であると思われる方法を採用してください。

しばらくの間、このエネルギーの放射を行い、三角形の中が十分に力で満たされるのを意識します。

次に火のエネルギーに対して行ったことと同じように、水のエネルギーを青色で視覚化し、三角形のなかに放射します。そして、三角形のなかで、ふたつのエレメントの力が融合しているのを強く視覚化します。

また、同様のことを風のエネルギーについても行います。世界から風のエネルギーを引き寄せ、三角形のなかに放射します。風のエネルギーは、黄色のエネルギーとして視覚化します。そして、風のエネルギーも他のエネルギーと溶けあうのを視覚化します。

最後に地のエレメントのエネルギーについても同様のことを行い、先に注ぎ込まれた３つのエネルギーと融合するようにイメージします。地のエレメントのエネルギーは、白色に視覚化します。

もちろん、最初の作業は、あなたが期待しているようにうまくいかないかもしれません。しかし、プラクティスを重ねるにつれ、強力なエネルギーの吸引と放射が可能になるはずです。

2．内部領域

続いて、あなたの意識レベルを高め、神霊との合一を実現するために、合一の内部領域の確立を行います。

瞑想状態に入り、自分自身が、好ましいと感じられる場所にいるところをイメージします。森のなかの開けた場所、寺院など、あなたが好きになれる場所であればどこでも構いません。あなたは、自分の世界の支配者であり、すべてのエレメントの力を自由に用いることができます。世界のあらゆるエネルギーを指向させ、引き寄せ、放射することができるのです。

あなたの正面に燃えるような赤色をした三角形を視覚化します。そして、その三角形のなかにヘブライ文字のヨッドをイメージします。そして、マントラとして「ヨッド」という言葉をしばらく繰り返します。それから、火、火の精霊、その他、あなたがこの火の世界に属していると考えるものをイメージします。あなたは、自分が意志とひとつであることに気づきます。そして、流出界、スピリチュアルの次元に根ざしていることを意識します。

あなたの左側に、青色の五角形を視覚化します。その五角形のなかには、ヘブライ文字のヘーが記されています。「ヘー」をマントラとしてしばらく繰り返します。そして、水、水の精霊など、水の世界に属しているものをイメージします。そして、情動とひとつであることに気づいてください。形成界、アストラルの次元に根ざしていることを意識してください。

あなたの背後に、中央にヘブライ文字のバウが記された黄色の四角形を視覚化してください。「バウ」をマントラとしてしばらく繰り返します。そして、風、風の精霊など、風の世界に属しているものをイメージします。そして、マインドとひとつであることに気づいてください。創造界、メンタルの次元に根ざしていることを意識してください。

あなたの右側に、白色のペンタグラムを視覚化します。その中央には、ヘブライ文字のヘーが記されています。マントラとして「ヘー」をしばらく繰り返します。そして、地、地の精霊など、地の世界に属しているものをイメージします。そして、意識とひとつであることに

気づいてください。形態の世界、物質界に根ざしていることを意識してください。

あなたは、これら４つの世界の支配者であり、あなたは４つの世界をその中心にいる自分の方へと引き寄せ、そこで融合させます。マントラとして「ヨッド・ヘー・バウ・ヘー」をそれぞれの文字が、それぞれのエレメント、世界と関連していることを強く意識しながら、繰り返します。そして、４つのエレメントが統合されていること、世界の力をあなたが活用できること、神霊とひとつであることに気づきます。

しばらくの間、この意識状態を保ちます。そして、あなたが望む時には、いつでもこの状態にいられるということを意識します。たとえ、あなたが意識しなくても神のスパークはあなたの内にあることに気づいてください。

あなたがそうしたいと望むときには、いつでもこの瞑想状態を終了することができます。その場合は、キャンドル、香を消し、プラクティスをきちんと終了します。

B．集団プラクティス

「合一」の集団プラクティスは、非常に強力です。このプラクティスでは、熟練した人物が指導者をつとめ、合一の瞑想状態へと他の人々を導きます。個々の参加者が神人合一を体験できるようにするのに

加え、参加者すべての内部領域を融合させ、神性を体験できるように共通意識の体験へと導きます。すべてがひとつになるのです。

C．内部領域のみでの実践

特に初心者にとっては、外部領域は、非常に有効に働きます。しかし、単に内部領域のみで、いつでもプラクティスを行うことも可能です。プラクティスを重ねることにより、「ヨッド・ヘー・バウ・ヘー」のマントラとそれに付随した視覚化を行うだけで、合一の意識状態を実現できるようになります。

集団プラクティスも同様の方法で行います。

D．光の放射

治療や防御など様々な目的のために神の光を放射することができます。なかでも最も素晴らしい作用のひとつは、より早いスピードで、合一意識を体験できるように他者を支援することです。この光の放射による意識変容の支援は、十分に合一に根ざした人物により行われます。通常、セミナーにおいて実施されます。このようなセミナーにおいては、通常、合一意識を約１週間程度の連続的な実践により達成することができます。

最後に

この６冊のテキストにそった作業をとおして（少なくとも読了を通じて）、「合一」の重要性となぜそれが形而上の訓練の初期の段階になさねばならないことなのかが理解されたことと思います。

合一意識の達成は、多くの点で役に立ちます。とりわけ、人間としての視点ではなく、神としての立場、視点から行動することにおいてあなたを助けます。

霊的訓練を行う上でも、その利点はあきらかです。合一意識に根ざすことで、しばしば、「高次の霊的教師」とか「古代の霊」などとして言及されている低次のアストラル的存在への依存的状態に陥るのをふせぐことができます。

非常に多くの人々が、無防備なチャネリングやコックリさん等により統制できない力や存在に憑依され、犠牲者となっています。

神秘訓練の最初に合一を実現することで、このような危険な状態におちいることを防ぐことができるのです。のみならず、訓練のスピードをアップさせることも可能なのです。

少なくとも７回以上の実践の後、プログレス・レポートを提出し、あなたの成果を私に知らせてください。

Ｙｏｕｒｓ　ｉｎ　Ｌｉｇｈｔ　ａｎｄ　Ｌｏｖｅ

Karl Hans Welz

カール・ハンス・ウェルツ

A COURSE
IN COSMIC CONSCIOUSNESS

ONENESS WITH THE DIVINE

第三課

この課では、合一のための第二のエレメントとして水のエレメントについて学習します。

なぜ水のエレメントを二番目のエレメントとして学習するのでしょうか？諸界について述べてある多くの著作においては、火の世界、流出界をもっとも「高次」なものと考え、その次に風のエレメントによってあらわされるメンタル界が、そして、その次に水のエレメントによってあらわされるアストラル界が続き、最後にすべてがあらわれ、顕現する意識界、地の世界の順序になっています。

つまり、自然な連続性を考えると、火、風、水、地の順序になっているわけです。もし、私達が、異なった順序を採用するとすれば、それをするだけの特別な理由が必要です。

最初のテキストで述べたように、神の名は、４つのヘブライ文字から構成されています。最初の文字は、ヨッドで、火のエレメント、意志、流出界を表しています。次の文字は、ヘーで、水のエレメント、

情動、アストラル界を、その次は、バウで、様々な側面をもつマインド（ただし、論理的ではない）、メンタル界を、そして、最後の文字、ヘーは、地のエレメント、意識、物質界をあらわしています。

なぜこのように連続しているのでしょう？いま述べたことから明らかなように神の名を構成する文字の種類は、３つです。つまり、ヨッドが１回、バウが１回、ヘーが２回使用されています。

これらの文字が、３種類の基本的な多角形と関連していることは、良く知られています。つまり、三角形と四角形と５個の頂点をもつ多角形です。

すべての辺の長さが等しいものを考えて見ると、三角形と四角形の場合、正三角形と正方形ができるのみですが、５個の頂点をもつ場合には、正五角形とペンタグラム（五角星形）の２種類が考えられます。

それでは、神の名、ヨッド、ヘー、バウ、ヘーのヘブライ文字が、どの幾何学的図形と関連しているのかという「秘密の解明」を行いましょう。

三角形は、意志（神の意志）、または、流出界と関連しています。そして、四角形は、創造の世界、メンタル界、人間のマインドと関連しています。

あきらかに、五角形とペンタグラム両方ともは、ヘブライのアルファベットの五番目の文字である、ヘーと関連しています。

問題なのは、五角形とペンタグラムのどちらが、どのエレメントに対応しているかです。

これらの図形を見れば、答は明白です。三角形ー流出界は、火の世界です。火は、物事を活動状態にするためのスパーク、意志をあらわしています。

意志は、形成力である水と相互に作用しあいます。火は、熱であり乾の性質をもっています。一方、水は、冷であり湿の性質をもっています。つまり、水は、火の対局に位置しているわけです。意志は、形成の世界、アストラル界と相互作用をおこなうのです。

風は、熱にして湿の性質をもっていますから、火と水を結びつけます。それは、創造の世界、メンタル領域をあらわしています。

このような関連において、３、４、５は、活動的になるのです。３、または、正三角形は、意志をあらわし、５の単純な形態である五角形は、アストラル、情動の領域を示し、メンタル界、マインドをあらわす４、または、四角形が、これらふたつの世界を結びつけているのです。

最後に残ったペンタグラムは、意識、物質界をあらわします。秘教的に言えば、人間は、アストラル界におけるペンタグラムとしてあらわされます。そのため、この図形には、退去など様々な性質があります。ペンタグラムは、「より高次の次元」をとおして、物質界におりてくるものの顕現をあらわしています。ペンタグラムは、より高次の

次元の統合を完全に表現しています。ペンタグラムのなかには、三角形と五角形が含まれています。つまり、流出するエネルギーと形成の物質であるエネルギーが含まれているのです。

これらの関係を心にとめた上で、宇宙の構成をあらわす神の力との合一の実習をおこなっていきましょう。

火と水

今回は、火と水のふたつのエレメントを扱いましょう。次にこれらふたつのエレメントに関連したキーワードを繰り返しておきました。

火のエレメント：意志、流出界、スピリチュアル界、正三角形。ヘブライ文字のヨッド、熱であり乾、サラマンダー、顕現の根にある神のスパーク

水のエレメント：情動、形成界、アストラル界、五角形。ヘブライ文字のヘー、神の名の最初のヘー、冷であり湿、ウンディーネ、神のスパークと相互作用をおこす形成的なポテンシャル

火と水との相互作用が、永遠なる創造の根源です。

あなたの周囲の作業場

火と水を統合する場合、あなたの周囲にこれらふたつのエレメント

をあらわす道具を準備しておくことは、有益です。

あなたの周囲にサークルを描くことも、もちろん効果的です。

この防御円の外側にテーブルを置き、円で囲まれた三角形を描きます。そして、水を入れたカップを置き、ヘブライ文字のヘーを記入します。

あなたがこれらの配置を行うとすぐに、創造の領域からエネルギーが引き寄せられるのに気づいてください。能動的な火を受動的な水は受け止めます。

世界から水のエネルギーを取り入れ、それを三角形のなかに放射しているところを視覚化します。あなたが第二課で、火のエレメントに対して実践したように三角形のなかに十分にエネルギーが蓄えられたと感じるまでこれを行います。

内なる作業場

ふたつのエレメントの内部領域を確立します。

イマジネーションの力を働かせて、あなたがこの目的のために最も適していると思われる場所にいる自分をイメージしてください。そして、あなたが水のエレメントを探究する間、つねに自分の周囲に存在しあなたを守ってくれる防御泡をイメージします。そして、周囲の様

相がだんだん変化し、しだいに水のエレメントの特徴を帯びてくるのに気づいてください。あなたは、この世界を歩き回ります。あらわれてくるすべてのものに対し、知覚と意識を開きます。

そして、この世界から戻った後、体験したことを思い出し記録しておきます。

この体験の目的は、水のエレメントに慣れ親しみ、あなたが水のエレメントを呼ぶときには、いつでも、それが存在するようにするためです。

あなたは、望むときにはいつでも、あるいは、必要を感じたときにはいつでも、この世界を去ることができます。

この内部領域に身をおきながら、その世界があなたのテーブルの上に形成された外部領域とエレメントの宇宙領域につながりをもっていることを意識してください。

意志と情動とひとつになること

水と火のふたつの世界に親しんだ後、創造者の意識へと向かう第二のステップに入ります。

まず、あなたの周囲を囲んでいる防御円、または、防御泡の中心にいる自分を視覚化します。そして、あなた自身の正面に三角形と、その中にヘブライ文字のヨッドをイメージします。もちろん、ヘブライ

文字を省き、三角形のみイメージしても構いません。その他、火の精霊、サラマンダーやワンド等、火のエレメントを関連したものを視覚化してもよいでしょう。

そして、心のなかで、あるいは、声にだして次の言葉を６回繰り返します。

「私のすべてが意志である。」

繰り返すたびに、火の内部領域に意識を集中します。

次の言葉を１回唱えます。

「私は、ひとつである。」

このプロセスを３回、連続して繰り返します。

次に、心のなかで、あるいは、声にだして次の言葉を６回繰り返します。

「私のすべてが情である。」

次の言葉を１回唱えます。

「私は、ひとつである。」

また、このプロセスを３回、連続して繰り返します。

そして、次の言葉を６回繰り返します。

「意志と情は、統合され、ひとつである。」

次のように言います。

「私はひとつである。」

そして、これまでの全プロセスを少なくとも３回は、繰り返します。エレメントの領域を視覚化しづづけます。これは、自分独自の方法で構いません。

プラクティスの回数は、熟練するにつれ、増やして構いません。

少なくとも１０回は、全体のプラクティスを行い、プラグレス・レポートを提出します。

A COURSE IN COSMIC CONSCIOUSNESS

ONENESS WITH THE DIVINE

第一課

宇宙意識通信講座へようこそ！これからあなたが6冊のテキストで学習する事柄は、あなたにとって大きな価値をもつものとなるでしょう。ルーンの学習を促進するだけではなく、他の様々な霊的、神秘的な事柄の実践に際しても非常に役に立つはずです。これから学ぶ技法は、「神人合一」を短期間で達成するための新しいテクニックです。

まず、次章を注意深く読んでください。

1. 宗教とテクノロジー

人類の曙の時代には、宗教はテクノロジーであり、テクノロジーは、宗教でした。このことは、まだこの惑星上にいる「原始的な」人々にとってはある程度、真実です。私が言う、原始的な人々というのは、技術革新にまだ接しておらず、巨大に組織化された宗教の教化により霊的感覚が麻痺していない人々のことです。

人間の進化の比較的初期の段階に、分化がおこりました。「触知可

ム、ヘブライ文字のヘー、物質的な地、固体、冷であり乾。

6. 諸界

エレメントに関連して、四界があります。エレメントに慣れ親しんだようにこのモデルとその照応についてもできるだけ親しんでおく必要があります。あなたはこれらの四界を「内的な世界」、「高次の世界」として認識するのもよいでしょう。あなたが進歩するにつれ、この「内的」にして「高次」の世界が、特定の意識の状態にとって価値のある有益なものであることに気づくでしょう。合一意識、または、神性意識により、最終的には、これらの区別が意味をもたなくなる、関係なくなる領域にまであなたを引き上げられるでしょう。

a. 物質界

あなたが最も直接的に意識できる触知可能なものがある次元。触知可能な体験の世界。この次元は、さらにふたつの次元に分割されます。すなわち、私達が「物質」と呼んでいるものの「濃密」物質次元と物体を移動させるエネルギーをもつエーテル次元です。現代物理学では、物体の二重の性質、つまり、電気的なスペクトルの波と粒子というふたつの観点からの把握を公理とし、このふたつを結びつけています。しかし、現代物理学では、時としてその磁気力との相互作用のために「磁気」として言及されている生命エネルギーについては気づいていません。あなたがどのような形而上学的システムの実践を行っていても、生命エネルギーについての気づきを深め、それを主要な道

具のひとつとすることになるでしょう。もちろん、物質界は、地のエレメントと関連しています。それは、形態の世界なのです。

b．アストラル界

触知可能なものの基盤を見いだす場所。水のエレメント、情動と関連した形成の世界。アストラル界のエネルギーは、物質界のエーテル次元のエネルギーよりも、より精妙な性質をもっています。アストラル界を「高次」と「低次」に分割することは、物質界を任意的に分割したのと同様です。物質界の場合と同様、「情動的物質」と「情動的エネルギー」は、不可分なものであり、ひとつのものの異なった顕現なのです。

c．メンタル界

人間のマインドに関連したさらに精妙なエネルギーの世界です。「思念形態」と「思念エネルギー」の二重性があります。創造の世界です。

d．スピリチュアル界

意志の領域。流出界。「スパーク」の存在するところ、そのスパークが、メンタル界において「像」を創造し、その周囲にアストラル・マトリックスが形成され、最後にエーテル的、または、物質的形態が付与されるのです。

合一を意識するためには、すべてのエレメントを意識的に統合し、意識的にすべての界に気づくことが有効です。

神名　ヨッド、ヘー、バウ、ヘーは、体験の四界において活動的状態にある四大エレメントの表現です。あなたの姿のなかにある神（あなたは神の姿につくられた）との合一は、ただそのことを意味しているだけなのです。

実習により、あなたは、合一の技法の多くの応用について学ぶことができるでしょう。いまは、ただ、あなたの世界において神の原理が存在していることは、大変、役に立つことだといえるだけです。

エクササイズ　レッスン1

テキストを注意深く読み、あなたが特別に興味をもったところについて瞑想し、その体験を記してプログレス・レポートを提出してください。

能」なものは、「技術的」なものと考えられ、「触知不可能」なものは、神霊の領域に属するとされました（そして、後には宗教の領域に属するとみなされました）。科学は、この触知可能な世界における構造と自然法則の発見につとめ、一方、形而上科学（または、そのほとんどが多くの神学のひとつであると判明している形而上学の体系）は、触知不可能な世界において何が行われているのか記述しようと努力してきたのです。もちろん、ここでいう触知可能、触知不可能という言葉は、単に手で触れることが可能か否かを示しているのではありません。

近現代において、科学が進歩するにつれ、「触知可能」と考えられてきたものが、結局それほど「触知可能」ではないことが判明し、また、同時に発達した新しい科学体系が触知不可能な多くの世界を吟味し始めています。宗教的なものや霊的なものと技術的、科学的なものとの一見、明確に見えた境界線が、もし、錯覚でなければ、だんだんと任意のものであることがはっきりしてきているのです。

他方、メタ科学の側の研究者達もだんだんと科学的モデルと科学的な厳密さの有用性を認識するようになってきています。もっとも、まだ、多くの形而上学者は、科学的訓練の不足に苦しんでいますが。

結果として、現代では、テクノロジーと宗教の融合が再びみられるようになってきています。ますます多くの人々が、霊的であると考えられていたものが、科学的、技術的と考えられている事柄と同じように妥当性をもった現実であるという事実に目を向け始めています。さらに多くの人類が、内的現実、霊的現実が「触知可能」な物質的現実

と同様の妥当性をもち、相互に作用しあっており、分離することは不可能であるという事実を受け入れざるを得なくなっています。霊的内的現実は、「外的」な科学的現実から独立して存在することは不可能であり、このふたつの現実性は、ともに共存しているのです。

また、サイキック・テクノロジーと霊的進歩とは、ひとつのプロセスのある側面を示しており、そして、人間の進化のなかで十分にポテンシャルを発揮するためには、物質的なテクノロジーも包含されなければならないのです。このような方向性での進歩の結果は、すべてを包含した形而上学的なテクノロジー、あるいは、テクノロジカルな形而上学になるはずです。そして、これは、アクセス可能な知覚、存在、意識のすべてのレベル、すなわち、物質次元から高次エネルギーの世界、さらには創造の領域をも含んだすべてのレベルと相互作用を引き起こすための方法なのです。

2. 神人合一の重要性

物質的なエネルギーと高次のエネルギーとを統合したテクノロジーは、無限のポテンシャルをもっています。私が「無限」といっているのは、どのような力のレベルに到達しようとも、つねにその先があるというプロセスについて述べているのです。無限の力のポテンシャルは、それを用いる個人に、ちょうど大学で教えられているように高度な科学に必要とされる訓練のように応用とトレーニングを要求します。

霊的な次元は、新しいテクノロジーの一部であるため、急速にして

安全に進歩するために個人個人が基礎からこの新しいテクノロジーを扱うための訓練と準備を始めることが大切です。様々なオカルト関係の学校やニューエイジのグループでは多くの技法が行われています。これらの技法のうちだだひとつだけが、霊的進歩向上、宇宙の創造的な領域へのアクセスのための堅固にして論理的な基礎をなしているように思われます。その問題となる技法が「神人合一の意識」なのです。このことは、キリスト意識、高次意識、高次自己などのように様々な名前でも呼ばれています。

一般的に信じられているのとは違い、この「神人合一意識」は、長期的な目標ではなく、「基礎」なのです。さらに、「適切な指示」が与えられ、「適切な外的、内的環境」で、できれば志を同じくする人々とともに、それを実践したならば比較的短期間で、この意識状態に到達できるのです。

あなたが学習を始めたこの講座は、できるかぎり簡単な課題により、合一の体験を得ることができるように「適切な環境」とそのノウハウを教えることを目的としています。

ちなみに私の直接の講義では、この技法の理論と実践を教える一方で、すでに「合一」を実現した人、または、人々が、学徒の目的達成を支援するために、神霊の力を放射します。そのため、通常、２～３週間で「合一」を達成することができます。

いったん、合一を達成してしまったら、神霊の力の放射を学び、他の人々があなたを支援したのと同様にあなたも他の人々を支援することができるようになるでしょう。

そのような作業を行うことで、ますます深く神人合一を体験するこ

とになり、霊的テクノロジーの多くの魅力あふれた側面における進歩向上、さらなる神秘の作業における成功のための確固たる基礎をつくることができるようになるのです。

いったん、あなたが自分の神性に気づいたならば、いままで困難に思えた多くのことが、ずっと容易になるはずです。

2．神人合一の実践

現代は、すべての人類にとっての試練の時です。いままで以上に、この惑星の現在の状況に対する全体的な癒しを行うために、「力」をもった人々が必要とされているのです。

この状況に対しては、迅速な処置が要求されます。人類は、もはやほんのひとつかみの人々のみが創造的で、その文化の全体的な発展に寄与するような「少数文化」に甘んじている余裕はありません。一部の個人が、強力なテクノロジーや高度な霊的技法を独占し、絶えず創造的であるように自己を練磨し、その創造性によりリーダーシップを正当化することなく、権威的地位を保とうとする時代は終わりを告げたのです。現代においては、比較的短期間で習得できるものに、学徒の貴重な時間を長々とさいて、長期間の訓練を行うようなシステムは必要ではないのです。

それ故、この講座は、その目的達成のための技術の習得と向上の独特な訓練体系を提供します。なぜなら、私は、最小限の努力で権威的な立場を維持するよりも、人類の向上を考えているからです。そのため、実践的な応用と個人的な体験が第一に重視されます。したがっ

て、「秘密の知識」や「英知のレッスン」等と称して見当違いな課題を課し、「権威」をひけらかして、あなたにそれを信じるように言うつもりはありません。「体験しながら進歩する」という原則にのっとって学習を進めていきます。

神人合一の体験は、調和、バランスのとれた、強力にして、急速な進歩向上のための最も有効にして堅固な基礎であることが判明しています。これは、訓練の初歩の段階、スタート地点であり、何年もの訓練や献身などの後に許されるイニシエーションのようなものではありません。

そのため、合一の実習は、私が提供しているトレーニングのコア（核）なのです。私の直接の講義では、参加者は、自らの神性に気づきます。そして、いつも、人間としての立場からではなく、神の視点でものを見、行動することを思い起こさせます。彼らは、合一（キリスト意識、高次自己などと言い換えても構いませんが）を得ているのです。それは、最初、ほんの小さなスパークかもしれませんが、後には、彼らの全存在を包含する連続的な意識的態度を形成する永遠光となるのです。

典型的には、最初、ワークショップに参加した人は、私が話したことについていくらかの洞察を得るはずです。そして、その後、数回の出席（何年もの訓練ではなく）により、神人合一の深い気づきの体験をします。人々がいっている高次自己、キリスト意識、高次意識とはどのようなものであるのかについて、実体験から理解するようになるでしょう。そして、自己の神性への気づきが、調和のとれた強力な進

歩向上のための出発点でなければならないことが理解できるでしょう。

次に先にいって行う実習の基礎となる原理についてお話しましょう。これをあなたは真実として受け入れる必要はありません。私は、ただこの原理に基づいた作業を行うことは、極めて有益で有効性が高いということを言いたいだけなのです。

4. 意識と合一

私は、ひとつであるのに、なぜいまさら合一の必要性があるのか？

それは、そのとおりです。しかし、合一の意識により、私達は、私達の環境を支配する力を得ることができるのです。しかし、ほとんどの人間の意識はひとつであることに根ざしては、いないのです。そのため、彼らは、必要以上に多くの制限、制約を体験することになっているのです。事実、合一に根ざすということは、制限や制約をはぎとっていくことなのです。

ひとつであるということを意識することは、「家」を所有することに似ています。ほとんどの人々は、自分の家を所有していません。正確には、お金を借りている銀行が所有しています。しかし、彼らは、まるで所有しているかのようにふるまいます。それは、ある時点においては、その家を所有することになるであろうからです。

あなたが最初にひとつである意識に到達した時点では、必要な頭金を支払ったようなものです。留置権つきで証書をもっているわけで

す。そして、あなたがプラクティスを進めていくにつれ、あなたはひとつであることを知るようになります。なぜなら、あなたは、将来十分に合一するだろうことを、そしていまもそうであることをしっているからです。

紹介する技法は、ただひとつである意識をつくりだします、そして、この意識は、強力な刺激として働き、多くの新しい、そして、すばらしい力、突破口、能力をもたらしてくれるのです。

その技法は、世界（または、世界像）を見るための特別な方法に基づいています。また、「上にあるように下にも」という原理にも基づいています。いいかえれば、人間は、人間が相互に影響している神の法則が作られたようにつくられているということです。
「神は、人をその姿に似せてつくらせた」

神の法則は、四大エレメントによって表現されています。これらの四大エレメントの完全な公式は、ヨッド、ヘー、バウ、ヘーの四文字からなる神の名のなかに見いだすことができます。個々の文字は、あるひとつのエレメント、ある意識のレベルをあらわしています。神人合一の意識は、あなたのなかの四大エレメントを意識し、それがあなたの周囲の四大エレメントと結びつき、ひとつへと、同じ目的へと統合されることを意味しています。この四大エレメントが統合されたものは、しばしば第五要素と呼ばれています。

次に、あなた自身とあなたの周囲の世界を見る方法を述べます。この概観、または、地図化は、あなたがこれを用いて作業するとき、そ

の上で拡大するための刺激となるはずです。

5. エレメント

各エレメントの関連事項

a. 火のエレメント

霊的火、意志、サラマンダー（火の精霊、時として高慢にみえる、支配するのは難しい）、三角形、ヘブライ文字のヨッド、物質的な火、熱情、熱であり乾。

b. 水のエレメント

霊的水、情動、ウンディーネ（水の精霊）、五角形、ヘブライ文字のヘー、物質的な水、液体、情緒性、冷であり湿。

c. 風のエレメント

霊的風、マインド（思考、直感など）、シルフ（風の精霊、独立と自由を愛する）、四角形、ヘブライ文字のバウ、物質的な風、ガス状、思考、熱であり湿。

d. 地のエレメント

霊的地、意識、ノーム（地の精霊、時として強欲）、ペンタグラ

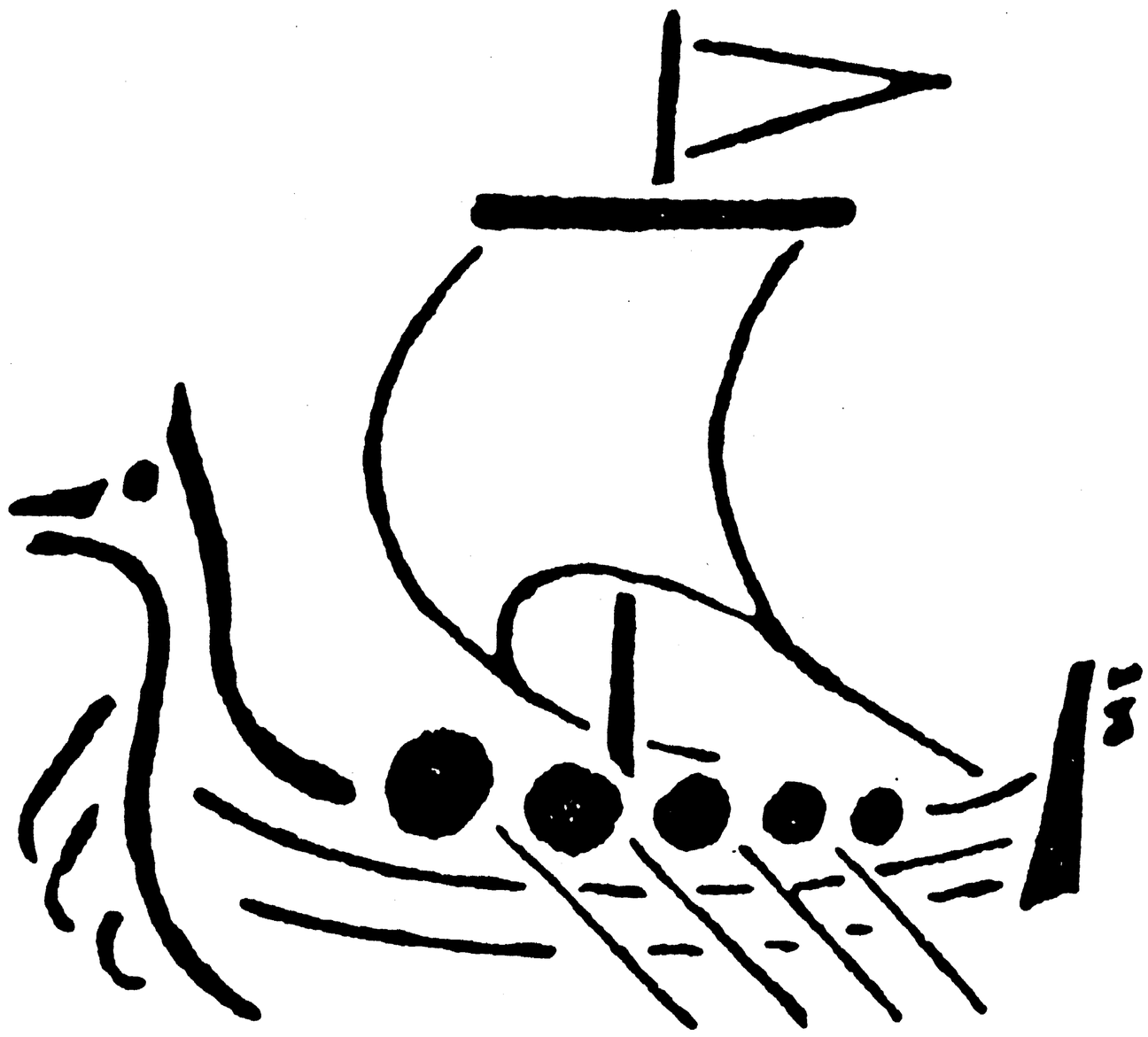
プログレス・レポート　　年　　月　　日提出

ー宇宙意識講座ー　第一課

氏名：

この用紙を切り取り、瞑想やプラクティスの結果、体験したこと等を記入し郵送して下さい。

郵送先：　〒１７６　東京都練馬区貫井５－１－１５
オリンピックマンション中村橋２０２
ルーン・ヨーガ・センター



THE SACRED ORDER of the KNIGHTS of RUNES

発行　K. O. R. 日本ロッジ
© 藤原大立　1990
版権所有